

注意と警告

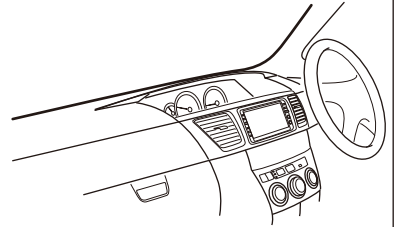
※ご使用前に必ずお読みください。

- 本製品は、道路運送車両の保安基準に抵触しないよう以下の場所には絶対に取付けないでください。
- ※運転者前方視界の妨げになる場所、フロントガラス、運転席助手席のサイドガラス、及び三角窓。(詳しくは、当社HPの前方視界基準の説明ページをご確認ください。
<https://www.saikosangyo.co.jp/exea/front/v/>)
- ※突起物として危険を生じる場所(特にチャイルドシートの正面)。
- ※安全装置(エアバッグシートベルト等)の作動効果を妨げる場所やステアリング、ペダル付近。
- ※万一落下した場合に運転者の操作の妨げになる場所。
- ※本製品または収納物がステアリングと接近して運転操作の妨げになる場合。(十分な距離が確保できない、調節できない場合。)
- お車の形状や素材により、取付けできない場合があります。
- ※必ず、機器を収納する前に、本製品の取付け状態を確認してからご使用ください。
- 本製品が周辺と干渉の可能性がある場合は使用しないでください。
- 収納する機器の形状によって安定したホルドがかからない場合は使用しないでください。
- スマートフォンにカバーやケースなど装着している場合、機器が不安定になり落下の恐れがあります。
- ※外すなどして、ご使用になる機器が安定することをご確認のうえ、ご使用ください。
- 走行中はホルダーを横向きにして使用はできません。
- ※落下する危険があるので絶対に車両が停車した状態でご使用ください。
- 運転中に本製品やご使用になる機器の操作は大変危険ですのでおやめください。
- ※必ず車を安全な場所へ停車させてから接続操作等を行ってください。
- 走行中の激しい振動により、ご使用になる機器が落下する場合があります。
- ※不整地や路面の悪い道路を走行する場合は、本製品の使用を中止してください。
- 収納する機器が落下し、事故につながる危険があります。
- ※急発進急ハンドル急停止でも、収納物が落下する恐れがありますので充分ご注意ください。
- 収納する機器は振動や出入れでキズつく恐れがあります。キズつけないものは入れてください。
- 直射日光や高温になる場所での使用は、本製品及び車両側や接続機器の故障、破損の原因となります。
- 炎天下の車内でご使用になる機器を放置しないでください。
- 熱による製品本体、ご使用になる機器が、変形・破損・故障の恐れがありますのでご注意ください。
- 本製品、並びに収納する機器を取付ける際やご使用中の落下、車両側に使用前との差異が生じた場合の損害(破損・キズ・変色等)は、当社では責任補償を負いかねます。
- 本製品は自動車専用です。他の用途にはご使用になれません。
- 本製品に因る取付けた機器の破損・消失(ご使用になる機器のメモリーデータ)に関して、当社では責任を負いかねます。
- ※必ずバックアップデータを記録するように心掛けてください。
- 本台紙記載のご注意に従わない場合や、誤った取付け・分解改造をされた際の事故・故障・損害につきましては、当社では一切その責任を負いかねます。



取付け前に

- 収納するスマートフォンの大きさに合わせて角度を調整し、設置場所のシミュレーションと取付け場所の清掃を必ず行ってください。
- 本製品は以下の場所には取付けることができません。
- ※垂直面に近い場所や逆さま・ほこりや油分等のある場所・隙間・段差・繊維等への貼付けはできません。
- 取付けるスマートフォンの形状によって安定したホルドができない場合は使用しないでください。
- 両面テープ貼付け前に、貼付け場所の材質を車両説明書や自動車メーカーへの問い合わせ等で必ずご確認ください。
- 本製品を取付け使用の際、車両側に使用前との変化が生じた場合の故障、損害(破損・キズ・変色・跡等)は当社では責任補償を負いかねます。
- 走行中の激しい振動により、ご使用になるスマートフォンが落下する場合があります。
- 経年車の場合は劣化による破損や脱落の恐れがありますので取付けできません。



各部の名称

＜ホルダー(本体)＞

- ・アーム(左右/横スライド)
- ・パネル(左右/前後スライド)
- 落下防止パーツ(上下可動)

付属品:クッション(4個)

＜貼り付けベース＞

- リング
- ボールジョイント
- ダイヤル小
- ロックボタン
- ダイヤル小
- 剥離紙

＜カーブアーム＞

- ダイヤル大
- 360°回転

ダッシュボードに貼付けるには段差のない「120×80mm」の面が必要です。

耐荷重250gまで

※ケースやストラップ等を含めた重さです。

各製品の取付け

- カーブアームを貼付けベース側に①～③の順で取付けてください。(図-1)

(図-1)

- ボールジョイントの取付け部品はホルダー背面中央と上部のどちらかに取付けることができます。(図-2)
- ボールペン等の先端でロック部を押し込み、取付け部品をスライドさせると、取付け部品を外すことができます。(図-2)
- ※ロック部を強く押し下げ過ぎると破損の原因となりますので十分に注意をしてください。

(図-2)

ボールジョイントの取付けについて

- 先にリングの中にボールジョイントを入れます。(図-3)
- ホルダー背面にボールジョイントを差し込みダイヤルを取付けます。
- 任意の角度が決まりましたらボールジョイントとリングをしっかりと締め付け、走行中に緩まないようにしてください。
- ※微調整を行う時は無理な力を加えず、必ず両手で行ってください。破損や怪我の原因となりますので十分に注意をしてください。

(図-3)

＜リングが回しづらいとき＞

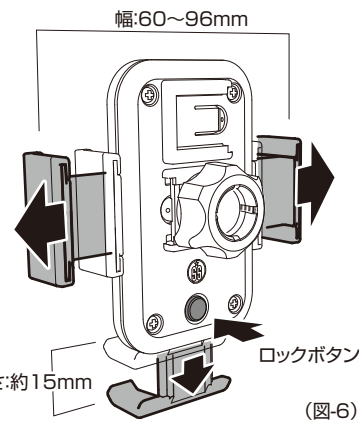
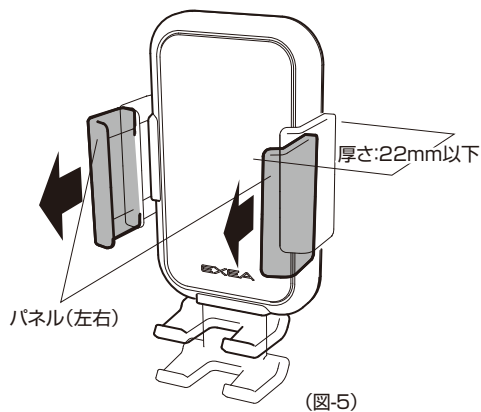
- リングが斜めに取付いている場合があります。一度リングを緩めて再度取付け直してください。
- 奥までボールジョイントが入っていない場合があります。ボールジョイントを取付部に強く押し込みながらダイヤルを回してください。(図-4)
- ※無理な力を加えず、車手等を用いて行ってください。破損や怪我の原因となりますので十分に注意をしてください。

(図-4)

※ 製品の収納方法は本紙の反対面に記載しています。必ずお読みください。

ホルダーの調節

- 左右アームのパネルは、前後にスライド調整することができます。(図-5)
- ※厚さが22mm以下のスマートフォンに対応しています。(図-5)
- 左右のアームは横にスライド調整することができます。
- ※幅が60~96mm以内のスマートフォンに対応しています。(図-6)
- 落下防止パーツは上下に15mm調整することができます。(図-6)
- ※ホルダー背面のロックボタンを押込むと落下防止パーツの上下調整ができます。(図-6)

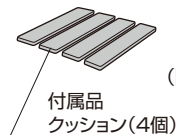
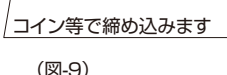
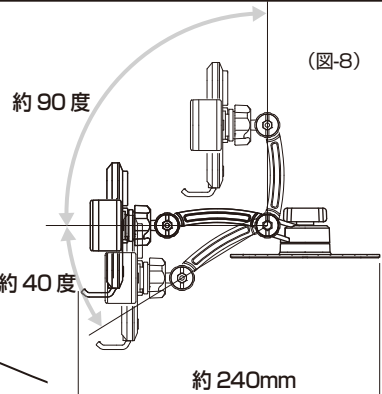
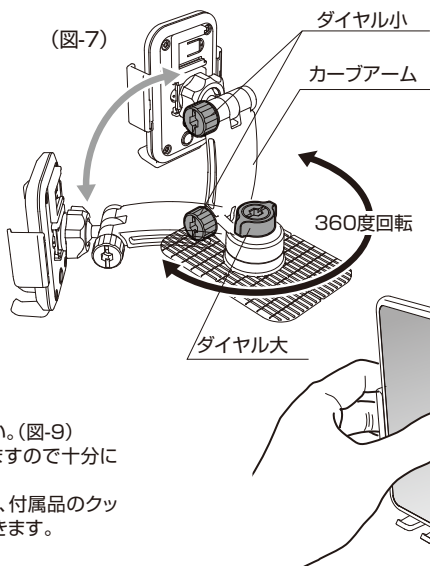


耐荷重250gまで

※ケースやストラップ等を含めた重さです。

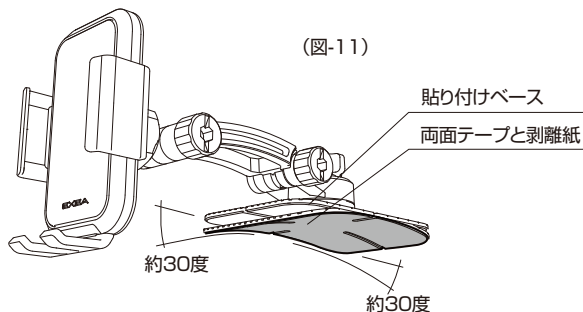
角度調節について

- 本製品はカーブアームを360度の回転調整が可能です。(図-7)
- 2箇所のダイヤル小を調整することで、カーブアームを90度立ち上げたり40度下げたローダウンの位置にすることができます(図-7-8)
- ダイヤル小の凹部をコイン等で締めることで確実に角度を固定することができます。(図-9)
- ※運転手や同乗者の視界の妨げにならないよう、取付け位置には十分ご注意ください。
- ※収納するスマートフォンの大きさに合わせて角度を調整し、設置場所のシミュレーションを必ず行なってください。
- ※必ず両手で本製品を支えながら締めつけてください。(図-9)
- ※無理な力で締め込むと破損や怪我の恐れがありますので十分に注意してください。
- 設置場所によって周りや干渉の恐れがある場合は、付属品のクッションを用いることで傷やガタツキを防ぐことができます。(図-10)



貼付けについて

- 貼付けベースは前後約30度まで曲げて貼付けることができます。(図-11)
- ※両面テープの剥離紙を剥がし、ダッシュボードの形状に合わせて貼付けてください。(図-11)
- 貼付け場所の汚れ・ホコリ・油成分等を中性洗剤でよく落としてください。
- ※貼付け場所の素材が中性洗剤で拭いても変質しないか、車の説明書や自動車メーカーへの問い合わせ等で必ずご確認ください。
- 皮革・布地には貼付けできません。また、曲面や球面等、両面テープの接着面の全てが密着しない様な凹凸のある場合の貼付けはお避けください。
- 貼付け直後は接着力が弱いのでご注意ください。
- ※両面テープの接着力が発揮される目安は貼付24時間以降です。スマートフォンは、そのあとに取付けてください。
- 貼付けは暖かい日中に行ってください。
- 直射日光の当たる場所への貼付けは両面テープの接着力(熱による溶解)が弱くなりますので、お避けください。
- 本製品は強力な両面テープを使用していますので、貼付け後の取外しは出来ません。万一、取外す場合は車両側の接着面に破損・痕等が発生する場合があります。

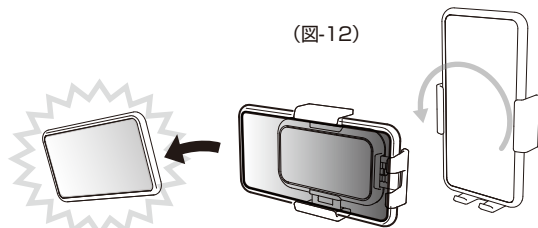


取付けできない場所

- ※運転者前方視界の妨げになる場所やフロントガラス、運転席・助手席のサイドガラス、及び三角窓。
- ※突起物として危険の生じる場所(特にチャイルドシートの正面)。
- ※安全装置(エアバッグ・シートベルト等)の作動・効果を妨げる場所やステアリング付近。

注意と警告 横向きについて

- ホルダーを横向きでご利用になる場合は、必ず車両が駐車した状態でご使用ください。(図-12)
- ※横向きの状態で走行するとスマートフォンが落下する危険性があります。
- 本紙記載のご注意に従わない場合や、誤った取付け・分解・改造をされた際の事故・故障・損害につきましては、当社では一切その責任を負いかねます。



※ 各部の取付け方法は本紙の反対面に記載しています。必ずお読みください。

※EXEAは星光産業株式会社の登録商標です。
 ※この製品は日本国内で企画され、中国で製造されたものです。
 ※この製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。
 ※iPhoneは、Apple Inc.の商標です。
 ※iPhoneについてのご質問は機器の取扱説明書に従ってください。
 ※Androidは、Google Inc.の商標です。
 ※その他、本紙に記載されている商品名等は、各社の商標または登録商標です。

GC-1

製品に関するお問い合わせは星光産業サービスセンターへどうぞ
TEL(048)984-1290(直通)
 月曜日-金曜日(祝祭日を除く) 9:00-12:00 13:00-17:00

星光産業の新製品情報や
 役立つ情報等が満載
 星光産業株式会社ホームページ
<https://www.seikosangyo.co.jp>



クルマにもっと自分らしさ……
星光産業株式会社
SEIKOSANGYO CO., LTD.
 〒342-0043 埼玉県吉川市小松川 561-1
JAAMA 全国自動車用品工業会会員